

REPORT

報告書

9月28日~29日 フォーミュラトレーニング


Junior Drive
Shirashi Racing School



SPORTS KART

Rental Kart Land ISK

舞洲スポーツアイランド


PRO e-RACING DRIVERS

GARAGE38
Luce ed ombra


Boxing Lab
STAY GREEN
Personal training space

■トレーニング実施プログラム 1日目

- 10:00～ 集合（広場現地にて） ※各自スーツへの着替えが完了していること
- 10:15～ 脱出訓練 （5秒以内にマシンから降りる練習）
- 10:30～ ブレーキング&ドグミッション練習走行 10分×3名 （ストレート区間のみ使用）
- 11:15～ Aコースタイム慣熟走行 10分×3名
- 12:00～ 昼休憩
- 13:00～ マシンセット練習走行① 10分×3名 ※リヤタイヤ 内圧高めセット
- 13:45～ マシンセット練習走行② 10分×3名 ※リヤタイヤ 内圧低めセット
- 14:30～ Aコース練習走行 10分×3名 ※内圧ノーマル戻し
- 15:15～ ロガーチェック
- 15:30～ Aコースタイム計測走行 5分×3名 （車載カメラ搭載）
- 16:15～ ロガーチェック
- 16:30～ コース清掃&車両ワックスかけ
- 17:00 解散

■ トレーニング実施プログラム 2日目

- 10:00～ 集合（広場現地にて） ※各自スーツへの着替えが完了していること
- 10:15～ 脱出訓練 （5秒以内にマシンから降りる練習）
- 10:30～ Bコース練習走行① 10分×3名
- 11:15～ Bコース練習走行② 10分×3名
- 12:00～ 昼休憩
- 13:00～ Bコース練習走行③ 10分×3名 ※タイヤ交換
- 13:45～ Bコース練習走行④ 10分×3名
- 14:30～ Bコース練習走行⑤ 10分×3名
- 15:15～ ロガーチェック
- 15:30～ Bコースタイム計測走行 5分×3名 （車載カメラ搭載）
- 16:15～ ロガーチェック
- 16:30～ コース清掃 & 車両ワックスかけ
- 17:00 解散

タイヤの空気圧による挙動の変化

今回で5度目となるフォーミュラトレーニングに三浦（14）、瀬川（11）、小野原（12）の3名のドライバーが受講しました。

初日の朝は恒例の脱出訓練からスタート。3名全員が規定タイムをクリアし、すぐに走行に移りました。

今回のマシンセットの変更は**タイヤの内圧**です。まずは後輪だけ内圧をかなり高めにして走行しました。後輪がズルズルと滑り、マシンのコントロールが難しくなり、外から見てもハンドル操作が忙しく見えます。その後、後輪の内圧を下げての走行に移ります。すると次はスライドが収まり、後ろの挙動が落ち着きました。タイヤの内圧だけでこれだけ挙動が変化するので、子供たちも驚いていた様子でした。



新たなコースレイアウト

2日目はフォーミュラスクール始まって以来初めてのコースチェンジ。一部レイアウトが追加されたBコースで走行を行いました。

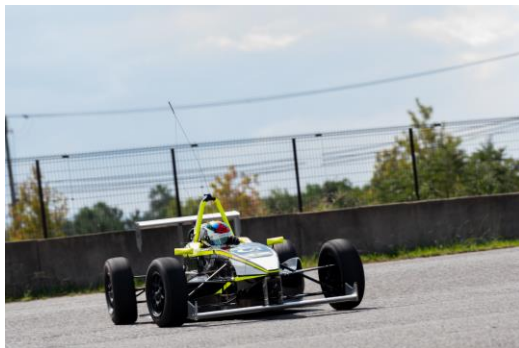
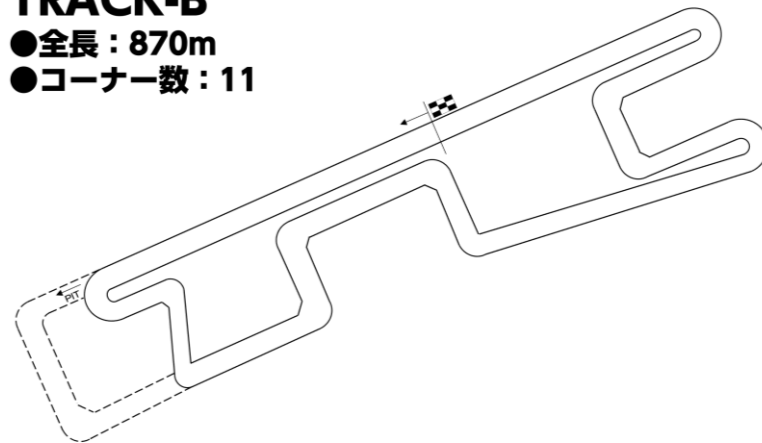
これまでのAコースから最終セクターが延長され、全長・コーナーが増え、またハイスピードコーナーが設けられました。走り出しから「楽しい！」とドライバーから好評の声があり、これまでに体験したことのないコーナーからいろいろ発見があったようです。

速度が高くなるにつれ、少しのハンドル操作でマシンの挙動が乱れやすくなるため、ハンドルを切るタイミングや量を考えなければ、高速コーナーをスムーズに抜けることはできません。最初は初めての高速コーナーに戸惑い慎重になりすぎていたものの、最後には3名全員がアクセル全開で抜けられるようになりました。

TRACK-B

●全長：870m

●コーナー数：11



【トレーニングを終えて】

今回天候にも恵まれ、フォーミュラスクール5度目にして初めて2日間をドライコンディションで終えることができました。グリップ力の高い中を2日間走り、体力的にも疲れた様子の選手も伺えました。コースチェンジをしたことで、さらにその選手の得意・不得意がはっきりと表れる形となり、そのドライバーに合った教え方が見えてきました。

舞洲でのトレーニングで基礎テクニックをマスターしつつあり、彼らの次のステージの準備を進めて参ります。

今回も多くの方のサポートの上でスクールを終えることができました。
ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

Junior Drive講師 白石勇樹



DRIVER PERFORMANCE

Yu - ONOHARA (12) Day1 Best **41.549** Day2 Best :**48.292**

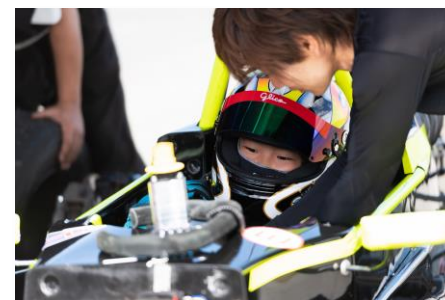
1日目は苦戦を強いられた小野原。最高速からのビックブレーキングが上手く行かず初日はタイムを伸ばせませんでした。打って変わって2日目は、トラックチェンジにより流れが変わり、トップタイムを叩き出し速さを見せつけました。

Yuzuki - MIURA (14) Day1 Best **41.516** Day2 Best :**48.508**

タイムアタック前の計測ラップではトップタイムを出すなど速さを見せた三浦。しかし5分間のタイムアタックセッション本番では、2日間両日ともにラップを纏められず次回以降の課題がはっきり見えました。

Naoto - SEGAWA (11) Day1 Best **41.176** Day2 Best :**48.559**

今回3名の中で最も走りに変化を感じたのが瀬川でした。自らの弱点を克服するべく、走りを大きく修正。初日は他を圧倒するタイムを記録しました。2日目はコースチェンジによりタイムを伸ばせず、コースへの適応能力がこれからの課題となりました。





Junior Drive

Shiraishi Racing School

100